

DIGをやってみよう！

ここでは、初級編、中級編、応用編の3段階に分けて、進め方を説明していきます。ここで紹介する進め方は一例に過ぎません。参加者の立場や関心によっていろいろな進め方があります。また、DIGは1回で終わるものではありません。最初は身近で取り組みやすいマップ作りから始めて、自分たちの地域の課題を見つけ、より具体的な対策を話し合しましょう。

1 初級編

- ・「自然条件」、「まちの構造」、「人的物的防災資源」を地図に書き込みながら、「地域（自分たちの住むまち）の防災力」を理解します。

2 中級編

- ・初級編の「地域の防災力」に加え、「静岡県第4次被害想定」の数値を地図に書き込むことにより、「地域に襲いかかる外力」を理解します。
- ・「地域の防災力」と「地域に襲いかかる外力」を比べることにより、「想定されるまちの被害」を理解します。

3 応用編

- ・中級編の「想定されるまちの被害」を前提に、実際に災害が発生したことを想定し、特定の条件（発生時間、季節、天候、風向、潮位等）を参加者にあたえながら対策を検討したり、その実行可能性を検証していきます。
- ・これらの作業を通して、参加者は地域防災力向上の必要性を「地域の課題」として認識するようになります。